

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 担当教員 |
|------|-------------|---------|------|--------|
| 専門分野 | 地域・在宅看護概論 I | 1単位15時間 | 1年後期 | 大黒 美奈子 |

授業のねらい

地域・在宅看護論の対象は、地域で暮らすすべての人であること、対象の健康や暮らしを支援するために、生活の基盤である地域を理解することの必要性がわかる。また、暮らしが健康に与える影響を理解する。

授業計画

| | | |
|-----|---------------------|--------------------------------|
| 第1回 | 人々の暮らしの理解 | 暮らしとは、多様性と共通性 |
| 第2回 | 人々の暮らしの理解 | 暮らしが健康に与える影響、健康が暮らしに与える影響 |
| 第3回 | 暮らしと地域を理解する | 地域とは、暮らす地域・学校のある地域の特性 フィールドワーク |
| 第4回 | 暮らしと地域を理解する | 地域とは、暮らす地域・学校のある地域の特性 グループワーク |
| 第5回 | 暮らしと地域を理解する | 地域・生活環境が健康に与える影響、地域の課題 グループワーク |
| 第6回 | 暮らしと地域を理解する | 地域の人々の健康と暮らしの支援 グループワーク |
| 第7回 | 暮らしと地域を理解する | 地域の人々の健康と暮らしの支援 グループワーク |
| 第8回 | 1時間 地域で暮らす人々への看護の役割 | 地域包括ケアシステム、自助・互助・共助・公助 |

授業方法 講義・フィールドワーク・グループワーク

教科書 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 : 医学書院

参考書 地域療養を支えるケア : メディカ出版

在宅療養を支える技術 : メディカ出版

評価方法 課題 レポート

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 担当教員 |
|------|------------|---------|------|--------|
| 専門分野 | 地域・在宅看護概論Ⅱ | 1単位30時間 | 2年前期 | 大黒 美奈子 |

授業のねらい

地域・在宅看護の対象と看護の基盤となる概念を理解する。また、地域・在宅看護が必要とされる社会背景を知り、目的・機能・役割を理解し対象とその生活を支える保健医療福祉サービスを知る。

授業計画

| | | |
|------|------------------------|--------------------------|
| 第1回 | 地域・在宅看護とは | 地域・在宅看護の意義、位置づけ |
| 第2回 | 地域・在宅看護の必要性 | 必要とされる社会背景 |
| 第3回 | 地域・在宅看護の必要性 | 必要とされる社会背景 |
| 第4回 | 1時間 地域・在宅看護の必要性 | 社会的ニーズ |
| 第5回 | 地域・在宅看護、在宅ケアを支える制度 | 医療保険、地域保健制度 グループワーク |
| 第6回 | 地域・在宅看護、在宅ケアを支える制度 | 高齢者、障害者・児を支える制度 グループワーク |
| 第7回 | 地域・在宅看護、在宅ケアを支える制度 | 母子小児を支える制度 グループワーク |
| 第8回 | 地域・在宅看護、在宅ケアを支える制度 | フィールドワーク |
| 第9回 | 1時間 地域・在宅看護、在宅ケアを支える制度 | フィールドワーク |
| 第10回 | 地域・在宅看護、在宅ケアを支える制度 | フィールドワークまとめ・発表 |
| 第11回 | 地域・在宅看護の対象と特性 | 対象のライフサイクル・健康レベル、障害、生活の場 |
| 第12回 | 地域・在宅看護の対象と特性 | 対象のライフサイクル・健康レベル、障害、生活の場 |
| 第13回 | 地域・在宅看護の対象と特性 | 対象のライフサイクル・健康レベル、障害、生活の場 |
| 第14回 | 1時間 地域・在宅看護の歴史的変遷と現状 | |
| 第15回 | 地域・在宅看護と地域ケア体制 | 在宅療養者への看護活動 |
| 第16回 | 地域・在宅看護と地域ケア体制 | チームケア |
| 第17回 | 1時間 試験 | |

授業形態 講義・グループワーク

教科書 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 : 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 : 医学書院

参考書 国民衛生の動向 国民福祉の動向 : 厚生労働統計協会
 社会保障入門2025 : 中央法規
 医療福祉サービスガイドブック2025年度版 : 医学書院
 公衆衛生がみえる2024-2025 : メディックメディア

評価方法 課題・小レポート・グループワーク、筆記試験

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 担当教員 |
|------|-------------|---------|------|----------------------|
| 専門分野 | 地域・在宅看護援助論Ⅰ | 1単位30時間 | 2年後期 | 深川市立病院 看護師 大黒 美奈子 |

授業のねらい

在宅で療養する人と家族を対象ととらえ、多様なニーズに合わせてその人らしく生きるための社会資源の活用方法・看護の継続性・ケアマネジメントの必要性を理解する。

授業計画

| | | | |
|------|--------------------------|---------|-----|
| 第1回 | 地域・在宅看護の基本と対象、援助の特徴 | | 大黒 |
| 第2回 | 在宅療養者と家族 | | 大黒 |
| 第3回 | 在宅療養者と家族の支援 介護負担 | | 大黒 |
| 第4回 | 在宅療養を支える訪問看護 | | 大黒 |
| 第5回 | 1時間 在宅看護を提供する場とその特徴 | | 大黒 |
| 第6回 | 関係職種と社会資源(訪問看護ステーション) | グループワーク | 大黒 |
| 第7回 | 関係職種と社会資源 | グループワーク | 大黒 |
| 第8回 | 関係職種と社会資源 | グループワーク | 大黒 |
| 第9回 | 関係職種と社会資源 | グループワーク | 大黒 |
| 第10回 | 関係職種と社会資源 グループワーク 発表・まとめ | | 大黒 |
| 第11回 | 在宅看護における倫理 在宅療養者の権利保障 | | 大黒 |
| 第12回 | 関係職種と連携するための技術 継続看護 | | 大黒 |
| 第13回 | 関係職種と連携するための技術 継続看護 | | 大黒 |
| 第14回 | 看護の継続性 訪問看護の実際 | | 看護師 |
| 第15回 | 看護の継続性 訪問看護の実際 | | 看護師 |
| 第16回 | 1時間 試験 | | 大黒 |

授業方法 講義・グループワーク

教科書 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 : 医学書院
系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際 : 医学書院

参考書 地域療養を支えるケア : メディカ出版

評価方法 課題・グループワーク、筆記試験

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 担当教員 |
|------|-------------|---------|------|-------|
| 専門分野 | 地域・在宅看護援助論Ⅱ | 1単位15時間 | 2年後期 | 刺田 由貴 |

授業のねらい

訪問看護活動が、在宅療養者と家族との信頼関係を基礎とし成立することを理解し、相手を尊重した関わりや援助方法を学ぶ。また、在宅療養者と家族の価値観や生活習慣を尊重した日常生活援助の必要性を理解し、状況に応じた援助の工夫を考える機会とする。

授業計画

| | | | |
|-----|--------------|-------------------|---------|
| 第1回 | 訪問看護技術 | 訪問マナー、看護者の基本姿勢 | |
| 第2回 | 訪問看護技術 | 初回訪問演習、面接・相談・指導技術 | |
| 第3回 | 訪問看護技術 | 情報収集・アセスメント | |
| 第4回 | 日常生活を支える看護技術 | 住環境、活動・睡眠 | グループワーク |
| 第5回 | 日常生活を支える看護技術 | 食生活・排泄 | グループワーク |
| 第6回 | 日常生活を支える看護技術 | 清潔・衣生活 | グループワーク |
| 第7回 | 日常生活を支える看護技術 | 服薬管理 | |
| 第8回 | 1時間 | 試験 | |

授業方法 講義・グループワーク

教科書 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 : 医学書院

系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 : 医学書院

参考書 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア : メディカ出版

地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 : メディカ出版

評価方法 グループワーク、筆記試験

| 分野 | 科目名 | 単位/時間数 | 時期 | 担当教員 |
|------|-------------|---------|------|---------------------------------|
| 専門分野 | 地域・在宅看護援助論Ⅲ | 2単位45時間 | 3年前期 | 深川市立病院 認定看護師 非常勤講師 大黒 美奈子 |

授業のねらい

在宅療養者と家族の健康状態と生活状況に応じた看護の展開を理解する。また、在宅での医療的援助における基本的なアセスメントや援助技術の具体的展開方法を学ぶ。さまざまな事例から、療養者と家族、その取り巻く環境と状況に応じた在宅看護の実践を学び、既存の看護の知識を応用し、在宅看護の実践へとつなげる。

授業計画

| | | | | |
|------|-------------------------------|--------------------------------|---------|-------|
| 第1回 | 在宅療養者の症状・状態別看護 | 脳血管疾患患者 | グループワーク | 大黒 |
| 第2回 | 対象に応じた在宅看護 | 脳血管疾患患者 | グループワーク | 大黒 |
| 第3回 | 対象に応じた在宅看護 | 脳血管疾患患者 | グループワーク | 大黒 |
| 第4回 | 対象に応じた在宅看護 | 脳血管疾患患者 | 演習 | 大黒 |
| 第5回 | 対象に応じた在宅看護 | 脳血管疾患患者 | 演習・まとめ | 大黒 |
| 第6回 | 在宅における看護の展開（認知症患者の看護） | | | 非常勤講師 |
| 第7回 | 在宅における看護の展開 事例展開 | | | 非常勤講師 |
| 第8回 | 在宅における看護の展開 事例展開 | | | 非常勤講師 |
| 第9回 | 在宅における看護の展開 事例展開 | | | 非常勤講師 |
| 第10回 | 在宅における看護の展開 事例展開 | | | 非常勤講師 |
| 第11回 | 在宅における看護の展開 事例展開 | | | 非常勤講師 |
| 第12回 | 在宅における看護の展開 事例展開 | | | 非常勤講師 |
| 第13回 | 在宅療養者の症状・状態別看護 | 精神障害者の看護 | | 非常勤講師 |
| 第14回 | 在宅療養者の症状・状態別看護 医療処置に伴う看護技術 | 感染症患者の看護 膀胱留置カテーテル、ストーマケア | | 大黒 |
| 第15回 | 医療処置に伴う看護技術 | 在宅酸素療法 | | 大黒 |
| 第16回 | 医療処置に伴う看護技術 | 在宅人工呼吸療法、気管カニューレ | | 大黒 |
| 第17回 | 在宅療養者の症状・状態別看護 | 難病患者の看護 | | 大黒 |
| 第18回 | 医療処置に伴う看護技術 | 中心静脈栄養法、経管・経腸栄養法 | | 大黒 |
| 第19回 | 医療処置に伴う看護技術 | CAPD療法 | | 大黒 |
| 第20回 | 医療処置に伴う看護技術 | 褥瘡ケア、フットケア | | 看護師 |
| 第21回 | 在宅療養者の症状・状態別看護 | 終末期にある患者の看護 | | 大黒 |
| 第22回 | 在宅療養者の症状・状態別看護 医療処置に伴う看護技術 | 終末期にある患者の看護 薬物療法、化学療法、放射線療法 | | 大黒 |
| 第23回 | 1時間 試験 | | | 大黒 |

授業方法

講義・グループワーク・演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤：医学書院

系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践：医学書院

参考書

地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア：メディカ出版

地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術：メディカ出版

評価方法

筆記試験